

湯布院“ホテル森のテラス”様に温泉ポンプを据付ました

2016.4.8

九州支店 堀口・江崎



別府八湯で有名な大分県の別府温泉、その別府温泉の奥座敷とも言われる温泉の街湯布院。湯布院の静かな森に佇む煉瓦造りの英国風ホテル“ホテル森のテラス”様に温泉ポンプの据付を行いました。

こちらのホテルの魅力はたくさんあるのですが、その中からいくつかをご紹介します。

ホテルの夕食は長年の経験がある腕利きのフレンチシェフが厳選した地元の食材や自家農園で採れた野菜などを使用し、由布院の恵みを閉じ込めた本格・豪華な湯布院フレンチが味わえます。





本館のお部屋は1室1室が違った雰囲気のお部屋がお出迎え。

シモンズ社製の大型ベッドは勿論、JR九州の日本最高級寝台列車“ななつ星 in 九州”でも使用されている上質なボディソープ・シャンプー、コンディショナー、等のアメニティを備えられています。

寝具はコットン100%で肌触りも快適です。

ゆったりとした、くつろぎの時間を過ごせる9つの温泉が自慢です。

男女ともに露天風呂を2つ、内湯を1つずつご用意、さらに趣の異なる3つの貸切露天風呂露天風呂もあり、家族水入らずの時間を楽しめます。

今回の源泉は437mの掘削、アルカリ性の単純泉で源泉の温度も約65℃ほどとなりました。



掘削は昨年の末より始まり、仕上げ、揚湯試験で源泉井の能力や泉質、温度等を調査、ポンプの選定を行い、3月23日にポンプの据付を行いました。

大分県は温泉県と言われますように利用源泉数3,531本総湧出量が毎分278,934ℓと日本最大の温泉県です。

(環境省平成26年度温泉利用状況抜粋)

また非常に高温な温泉(蒸気泉)からpH2.05という泉質の塚原温泉は日本三大酸性泉にも数えられています。(他は秋田の玉川・山形の蔵王)

このような多種多様な温度や泉質の源泉を掘削する技術はまさに“匠の技”と言えるでしょう。

過去にも弊社では湯布院には温泉ポンプを据付けてはおりますが、今回は地下 148m に OPDH4E-40-3.7-27 の据付を実施しました。当日は天候にも恵まれ、am9:00 頃より準備、お昼過ぎには据付を完了いたしました。午後より揚湯を行い最終的には 65℃前後の源泉となり、源泉掛け流しに理想的な温度となりました。



今回、据付を実施しました井戸径 100 mm 用のポンプですが、弊社では多彩なラインナップをご用意しております。

一例をご紹介させていただきますと、源泉の最高使用温度は 90℃、また最近では 100 mm 用では始めてポンプ組込型 3 段式ガスセパレータを発売しました



いよいよシーズンは春本番、湯布院は大分県のほぼ中央に位置しております。1584m を誇る由布岳は春夏秋冬のそれぞれの季節により、様々な景色の変化を楽しめます。市内散策には有名な“人力車”の他に、蹄の音が心地よい“辻馬車”やモダンレトロなバス“スカーボロ”、また近郊には高さ日本一の九重“夢”大吊橋、動物とふれあえるアフリカンサファリや別府の地獄めぐり、等 有名な観光スポットもたくさん存在します。

お近くにこられましたら是非、皆様も湯布院の静かな森に佇む“ホテル森のテラス”で英国の雰囲気と由布院フレンチ、由布院の自然を堪能されてはいかがでしょうか？